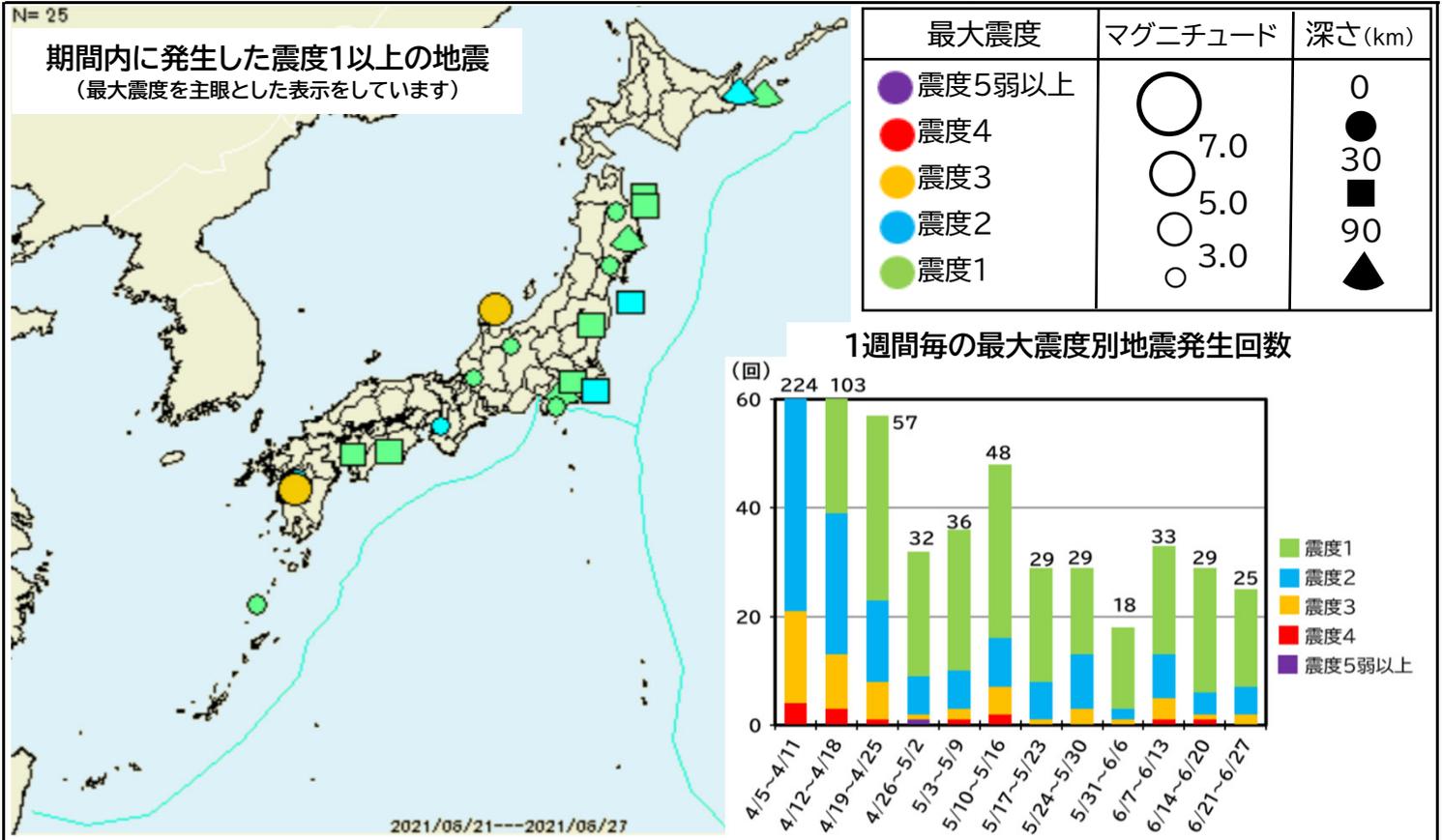


この期間の最大震度は3

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が25回発生。最大震度は3 ■
- ・26日00時49分に熊本県熊本地方で発生した地震(M4.0、深さ13km)により、熊本県八代市、宇城市、上天草市、美里町、氷川町で震度3を観測したほか、長崎県、宮崎県、鹿児島県で震度2~1を観測。この地震は地殻内で発生した横ずれ断層型。
- ・26日01時24分に石川県能登地方で発生した地震(M4.1、深さ14km)により、石川県珠洲市、能登町で震度3を観測したほか、石川県・富山県で震度2~1を観測。この地震は地殻内で発生。

トピックス

■ 福井地震(この週の日が発生した過去の被害地震) ■

- ・1948年(S23)6月28日にマグニチュード7.1の福井地震が発生した。内陸の活断層による地震と考えられている。
- ・福井平野の被害が甚大で、家屋全壊率100%の集落が相次いだ。また、地震の直後から福井市内を中心に火災が多発し、4000棟以上が焼失した。
- ・この地震を契機に、これまで震度階級の最高ランクであった震度6に加えて、震度7が新設された。
- ・地震は海域のプレート境界で発生するものが圧倒的に多いが、内陸部でも被害を伴う地震が多く発生している(図)。
- ・明治以降に日本で発生した死者1,000人を超える20の地震のうち、約半数は内陸部で発生している。
- ・また、被害を伴う地震というと、太平洋側で発生した地震を思い浮かべますが、図を見ると日本海側で発生した地震も多いことに気づきます。また、日本海側でも福井県~島根県にかけての地震も目立ちます。
- ・内陸の被害地震の地震規模(M)は、海域で起きる被害地震に比べて小さいですが、足元で発生するためMの割に大きな被害を伴う。

